



ハワイ便り

ローカル発・シニアのための最新情報

スポーツも人生も後半戦がおもしろい・ハワイで過ごすアクティブライフ！

発行：ハワイシニアライフ協会(HISLEA)

Hawaii Senior Life Enrichment Association(HISLEA)

info@hawaiiseniorlife.org Tel: (808) 428-5808 Fax: (808) 396-1140 P.O. Box 25355, Honolulu, HI 96825-0355

2011年4月号 (Vol.42)

大変なことが起こりました。そしてまだ終息していません。

ハワイにいて震度6の地震があったとニュースでみて日本にいる子供に電話をしますと、どの地震のことという返事が戻ってきます。あまりにも地震が多く、地震酔いという体調不良にもかかっている人も多いと言います。

見方を変えますと、地球のエネルギーの大きさはとても人類の力の及ぶところではないと、つくづく思い知らされました。まずは、このことを素直に認めたくえで、地球という自然体のなかで他の生物も含めていかに調和のとれた世界(社会)を築いていくかを考える良いきっかけになるようにも思いますが、皆様はいかががお考えになりますか。

たくさんの会員の方から大震災についてメールをいただいています。

「ハワイ便り」4月号は、大震災と創立4年目にして初めて開催した「ジャパン ハワイ カルチャーエキスポ」の特集といたします。

ジャパン ハワイ カルチャーエキスポ 2011 ・ 第1回ヒスレア美術展



ジャパン ハワイ カルチャーエキスポのご報告

布川捷二さん・理事/総括責任者

突然の大惨事の発生で開幕が危ぶまれましたが、「第17回ホノルルフェスティバル」は予定通り開催、「ハワイシニアライフ協会」として初めて「ジャパン ハワイ カルチャーエキスポ2011」のタイトルのもと、日米文化の架け橋となるべく、盛沢山のプログラムを披露しました。美術展、荒了寛さん個展、文化紹介ブース、アメリカで活動する日本企業の紹介、特設ステージでは、日本からのお琴、小唄のお師匠さんのデモ演奏、地元舞踊グループの新舞踊、詩吟グループの吟詠、太極拳、気功のデモ等々、それに「ハワイシニアライフ協会」会員の三味線、ウクレレ同好会、合唱グループ等が日頃の練習の成果を披露しました。

最後に文化講演会では、荒天台宗ハワイ開教総長の「二世の心と文化」、日本人初クルーとして参加された内野加奈子さんに「ホクレア、星が教えてくれる道」と題して講演して頂きました。お陰様で、2日間の会期中に我々の会場には 4,200 名の皆さんに訪れていただき、予想以上の盛会でありました。また、来年をご期待下さい。

第1回ヒスレア美術展を開催して

江口素臣さん(理事/文化推進部 ヒスレア美術展責任者)

一般から作品を公募する、公募美術展(審査や受賞をとまなう美術展)。短期間の作品募集の為、出展者達には時間的な制約がありましたが、予想公募参加作品数80点を大幅に上回り、140点にもなりました。

作品の種類も油絵、水彩、アクリル画、水墨画、書道、押し絵、立体画、写真、ペン画、日本刺繍、の多種にわたり展示されました。第1回目の公募美術展にしては作品全般にわたりレベルの高いものになり驚かされました。日本からも15点の作品が出展され、すでに来年の美術展に日本からの出展希望者の問い合わせが来ていますし、ローカルのアーティスト達も来年の展示会を目標に制作意欲に火を付けた様で毎年、ハワイでの一般公募の美術展の開催の必要性を痛切に感じました。写真: (右上)最年少の受賞者 (左下)家族と受賞の喜びを分かち合う



来年は日本からの作品出展数の比率を50%とし、ハワイ・ローカルの芸術家と日本からの芸術家達との交流接点を作り、日本とハワイの芸術家たちの制作意欲に刺激を与え、彼らを励ます事が出来れば、ヒスレア美術展の目的は100%達成する事になるでしょう。

この度ボランティアで親身になって、お手伝いして下さった方達に心からお礼申し上げますと共に、又、来年もHISLEA会員の皆様のご協力と、ご支援をなにとぞ宜しくお願い申し上げます。

ボランティアされた方々の声

関川菊枝さん(会員)

坂井会長の“鶴の一声”でスタートした“JHCE 2011”、初めての構想なのでスタッフ一同手探り状態、それでもミーティングを重ねるうちにいろいろなアイデアが浮かび各々の役割にボランティアを含め何とか成功させたい…と全員一丸となり、果たしてどれ位の入場者があるか不安な気持ちで当日を迎えました。ところが結果は延べ4200名もの入場者があり内容も大好評を得てまずは大成功!!良かった、良かった!スタッフ、ボランティアの皆さん本当にお疲れ様でした。



金沢文子さん(終身会員)

シニアライフのメンバーとして初めて参加させていただきました。私が想像していたより盛大でしたのでびっくりしました。生まれ育った茨城が東北関東大震災に遭い、たくさんの犠牲者が出た中、正直お祭り気分になれないと、心が痛みました。その中で、催しでしたが、シニアライフ主催の催しが他に比べて立派に見え、たくさんの観客が足を運んでくれました。そのお手伝いが出来たこと、またその成功の喜びを言葉に表す事はできません。それも、短い練習の中で一人一人が努力をした成果だと思います。皆様に感謝、そして、ありがとうの気持ちでいっぱいです。二日間のお祭りでしたが、会員が一つになり皆で一生懸命頑張った事は、私に取っても、良い思い出になりました。これからも、シニアライフがますます発展して行く事を心より願っております。

深田マコさん(会員)

昨年より猛スピードで準備してきたJHCE 2011の開催日前夜は、津波警報が発令され、不安と緊張に包まれながら開幕しましたが、2日間に述べ4200人と云う予想以上の来場者があり大成功。実行委員の一人として感謝の気持で一杯です。実行委員長の布川さん、美術展担当の江口さんを始め、多くのボランティアの皆様、本当にご苦労様でした。来年のJHCE 2012も、一緒に頑張ろうではありませんか!



野田治江さん(終身会員)

ボランティア、ステージ出演、美術展と参加させていただき、いろいろとお世話になりました。当日は楽しいのと緊張で、時間の経過を忘れるほどでした。ボランティアの人達の「役割と時間割」の一覧表が配布されていたら、ボランティア同士で、判りやすかったと思います。来年も、楽しく参加できるように努力するつもりです。

岡田早苗さん(終身会員)

この度は、お琴デモンストレーションで参加させて頂きました。

1日目はお琴独奏、2日目はお琴伴奏でオハナ・オイターズのコーラス隊が合唱。2日間の合同練習の成果があり(笑)、コーラス隊は自慢の声で熱唱… お琴の音色、歌声、そして皆様のはち切れんばかりの笑顔が最高でした…

丹野最世子さん(会員)

1月24日からの2ヶ月間、今回のハワイ滞在の目的は絵を描くことでした。大小合わせて12枚くらい描き、そのうち4点を「第1回ヒスレア美術展」に出展、PUALANI2(魚の絵)にヒスレア賞をいただき、ますます書きたくなったハワイ生活です。MAHALO!

プウ・マ・エリエリ(Pu'u Ma'eli'eli) ハイキング

公平良三さん(夫婦家族会員)

東北の被災者の方を思うと複雑な気持であった。当日、アラモアナパーク付近の自宅は雨がパラツキ、心配しながら集合場所に向った。シニアライフ協会のメンバー6名とほぼ同数のシエラクラブのメンバーで平等院の反対側のマクドナルドの裏の住宅街に駐車して、9時15分に出発した。シニアライフ協会から案内には「3マイルの道のりですが、所々急な登りがあり、計700フィート登ります」とあって覚悟はしていたものの、最初から突然の急な登りに驚かされ、不覚にもポール(杖)を忘れたのが悔やまれた。



結果的には、15分位の急な登りの後は、まあまあの登りを頑張ると、突然視界が開けてカネオヘベイを望むビューポイントで一休みをした。こうした視界を開くための伐採はシエラクラブの活動の一つだそう。最後に、またキツイ登りがあったのであつて頂上に達した。所要時間は一時間弱でした。頂上からは、フィッシュポンド、カネホヘベイそしてチャイナマンズハット迄300度くらいの眺望を楽しんだ。お茶を飲んでいる間に太陽も雲から現れ、海の色もコバルトブルーに変わり、全員大満足だった。帰りは急な下りに足をとられながらも何とか転ばずに下りることができた。



この頃にやっとお昼になったので、シニアライフ協会のメンバー6人で、Ho'Omaluhia 植物園に行きピクニックテーブルで昼食をとり、話が盛り上がった。楽しい一日であったが、帰宅したら、東京から脱出してきた娘と孫が到着していて、また日本の厳しい現実に戻ってしまった。

予 告

4月のハイキング カルアヌイ(マリナーズ)リッジ 4月17日(日) ダグラス英津子さん(会員)

ハワイカイより、コオラウ山脈のてっぺんをめざします。頂上はオアフ島東部、ウィンドワードの目の覚めるような景色です。4マイル、シエラクラブのボランティアガイドの説明を聞きながら、軽い運動を伴うリラックスした日曜日を楽しみましょう。

集 合 Church of the Cross Road に午前8時集合 2510 Bingham St. Honolulu

参加費 5ドル(シエラクラブへ) ハイキングスタート地点まで車の移動に、カープールご希望の方は申し込み時にお申し出ください。(お1人 2ドル運転者へ)

用意するもの ハイキングシューズ、帽子、虫除け、水(1リットル)、ランチ、スナック、雨具など。

シエラクラブのハイキングについて

シエラクラブは、1892年に設立された地球の自然と人間の環境を守る運動を実践する米国で最大規模(会員130万人)の団体です。ハワイでのハイキングには、トレーニングされたリーダーが原則2人つきますが、参加するにはシエラクラブの免責事項(Waiver)を承認することが前提となります。詳しくは⇒ www.hi.sierraclub.org/oahu/outinginfo.htm

関西ハナレア会3月例会に参加して

松井 亨さん(夫婦会員)

今年から定例化した関西ハナレア会3月例会に参加しました。会場はHISLEA関西事務所から徒歩3分のフェニックスタワー27階にあるサントリー直営レストラン「燦」で眺望が抜群でした。参加者の皆さんの自己紹介からはじまり、すぐにランチタイムに移り美味しい旬の和食を味わいました。

3月例会は「2011年ハワイからの新しい旅のスタイルの提案」や8月に新しくオープンするコウリナのディズニー直営・リゾートなどが資料をもとに岸本支部長より紹介されました。大黒さん(会員)からは羽田に新規就航したハワイアン航空初搭乗体験談がユーモアたっぷりに披露され一同大爆笑!「エコノミークラスだがそのサービスもてなしはビジネスクラスなみで、機内食も満足、アルコール類もフリーで満足したとの事、またホットなニュースとして関西空港にも7月よりハワイアン航空が新規就航、それにあわせて日本航空が50席増、デルタ航空が100席増(使用機材大型化実現)により関西からのハワイ行きチケットが取りやすくなり、益々ハワイが近くなるようだ」というニュースです。

情報交換タイムでは最近ハワイから帰国された会員の皆さんから発言があり① condominium (現地業者斡旋) でトラブルが起きたが対処に困った事例紹介。②これからハワイへ行かれる方の計画を話し合いながら日程が合えばハワイと一緒に「イベント参加」するのも面白いし、交流の輪がひろがり、ロングステイが益々充実する等々、有意義な意見が沢山出て大いに盛り上がり楽しく交流ができました。

月例会に参加すればその季節の旬な料理を美味しく食べ、旬なハワイ情報交換をハワイ好きな仲間の皆さんと好きなように大いに喋りながら楽しくできますよ。幹事の皆様ご苦勞様でした。

東日本大震災

住宅提供のお申し出

蛇澤利良・恵明子さん(夫婦終身会員)

岩手県在住の蛇澤利良です、今回の震災&福島原発での放射能問題で東北地方では避難先の確保が大変になっております。岩手県北上市は内陸で津波の影響はありませんし、食料&灯油&ガソリンなどライフラインは比較的安定供給されております。私のところに3LDKのマンションの空室が幾つかございますので、生活用品などをすべて準備しますので、避難先がお決まりでない方(シニアライフ協会の会員&その親戚&知人)のご連絡をおまちしております。

☎ 0197-71-3400 toshiro@yoshinoya-oa.com

関西支部より避難先提供の申し出 事務局長 山中毅さん

・会員の家族・親戚の方 ・約2ヶ月程度

関西在住会員の方々に事務局が窓口となり受け入れをお願いいたします。

【連絡先】シニアライフ協会関西支部事務局 ☎ 06-6362-8813(榎松広<マツコウ>内) FAX: 06-6362-8818

健康相談

当協会顧問の大山廉平ドクター(東京都済生会渋谷診療所所長)より、無料健康相談をEメールで受けますとの申し出をいただきました。医療機関が十分に機能していない地域もあるかと思えます。ご相談があります方は、大山先生あてどんなことでもお気軽に相談内容をお送りください。大山先生のEメール: oyama@saichu.jp

義援金を募ります。

ハワイシニアライフ協会では、ハワイと日本で東日本大震災被災者に対する義援金を募ります。

ハワイ チェックで当協会あてお送りください。

あて先: 'HISLEA'、メモ欄: 'TSUNAMI' とお書きください。

送付先 HISLEA/TSUNAMI, P.O. Box 25355, Honolulu, HI 96825-0355

当協会は米国内のチャリティ団体として IRS から 501(c)(3)の認可を受けておりますので、米国の納税者が支払う寄付金は非課税扱いとなります。(FEIN: 39-205725) 詳しくは、公認会計士等にお尋ねください。

尚、Cancelled check をもって領収書とさせていただきますので、ご了承ください。

日本 下記銀行口座にお振り込みをお願いします。

三井住友銀行 自由が丘支店(655)

口座番号 7085945 普通預金

口座名 「ヒスレア東日本大震災義援金 代表 馬場弘人」

いただきました義援金は全額、ハワイ州を上げての義援金募集活動プログラム 'Aloha for Japan' (事務局: ハワイ日米協会) をとおして、日本の被災地に直接届けられます。



ワイキキでの募金活動

布川捷二さん(理事)

大柄なハワイアのトロリー・バスの運転手のオバサン、Royal Hawaiian の角に堂々違法駐車、のこのことやって来て、空手の道衣を着ている上田さんのお嬢さんの募金箱に献金、バスに戻って発車、我々に手を振って警笛を鳴らして行きました。Mahalo!

黄色の T-シャツのオバサン達(?)に囲まれた日本人観光客のオジサン、観念したらしくおおように1万円札を募金箱に。おおきに、ありがとさんどした。TAXI が近寄ってきて、ドライバーが手に数枚のドル札を握って声をかけてくれました。慌てて車道側に飛び降り、ありがたく頂きました。Drive-In のアメリカらしい献金方法でした。そういえば、ホームレスのおじさんが交差点でよく立ってますよね~! この Drive-In 募金方法を次回はやってみては如何..?

カメラを手にした日本の観光客らしいオバサマ、献金して写真を撮らせて下さいとのこと、多分自分のブログにアップしてくれるようです。Aloha for Japan!



東日本大震災義援街頭募金活動に参加して

富永(普天間)恵子さん(会員)

東日本大震災被災地の為に私に何か出来る事がないかと模索していた矢先に「ハワイシニアライフ協会」より街頭募金活動のお誘いがあり喜んで参加させて頂きました。

3月19日(土曜日)午前11時半より午後1時まで、カラカウア通りのワイキキ・ショッピングプラザ前で約1時間余り、少しでもハワイに住んでいる私達のアロハの気持ちが、道行く観光客に伝わるように「Help Japan」と大きな声で募金協力をお願いしました。その中の上田さんのお子さん達の素直な声は訴える力が十分に有りその結果、合計\$1055.55と日本円31,031の義援金が集まったそうです。そしてわざわざ車を止めて募金をしてくれたトロリーやタクシードライバーにも感激です。

一日も早く被災地の皆様が元気に暮らしていけるようにひたすら祈るばかりです。



ハワイ本部へご寄付いただきました義援金は3月30日現在7,642ドルです。

米国在住の方はこの寄付金を非課税扱いにできますので、今後ともよろしく願い申し上げます。

大震災義援金に早速の多額の善意、御厚情を賜った協会幹部、世話役の皆様へ 馬場弘人さん(日本地区本部長)

大御礼! でございます。皆様からの義援金専用口座への御入金を確認させていただきました。30日現在総額471,755円でございます。協会ハワイ本部と連絡、報告しながら、会員の皆様のご厚情を取り纏めたいと思います。

義援金の他に、被災された協会会員への住居提供も頂いております。

まだまだ寒風の続く毎日でございます。どうぞご自愛にて! お過ごし下さいませ。ありがとうございました。(中間報告)

会員便り / 伝言板

◆サイクリングレースに参加しませんか

菅川じゅんさん(会員)

ノースショアで25キロ、50キロ、100キロのサイクリングが4月10日に催されます。長距離を安全に走るにはサポートが必要ですのでこういうイベントを利用しないとなかなかできないものです。

私は走りに行くのですがどなたか一緒に走りたい人はいないか、と思っています。多分私の車に自転車3台と人が3人乗れます。詳細は:<http://www.sponavihawaii.com/Default.aspx?tabid=155&D=2011/04/10>

連絡: ☎ 808-635-6181 junesan123@gmail.com



(続く)

今回の大震災に関連していろいろな方からたくさんの情報をいただき、会員の皆様に有用と思われるものを適宜ご紹介させていただきました。まずは、NHKとTBSのインターネット専用ニュース番組(24時間)です。(臨時番組・1週間ほどで終了)それから、二十歳の学生が立ち上げたツイッター。そして、坂井会長のお見舞いのメッセージを被災地の方々にお送りさせていただきました。

これに対し、会員の皆さんから本当にたくさんのメールをいただきました。紙面の関係で全てを掲載することはできませんが、可能な限りここにご紹介させていただきます。



◆(3/14)ありがとうございました。私の実家も震災に合ってしまい、現在消息を探しています。以前3月21日のウクレレ教室への参加を予約しましたが、当面ホノルルへは行けそうもありませんので、ウクレレ教室参加をキャンセルしたいと思いますので、ご面倒でもよろしくお願い申し上げます。(3/18) イベント情報をお送りいただきありがとうございました。また、震災に対しまして激励をいただきありがとうございます。私も相馬市へボランティアに行く予定しています。鈴木 匡(まさし)さん

◆(3/14)読みました。思わず涙が出ました。北田勇さん

◆(3/14)東京の桐原です。この数日、本当に気の滅入ることばかりが続いていましたが、転送いただいた言葉の数々に心から勇気づけられました。前を向いて頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。

桐原 Yasunori さん



◆(3/14)紹介いただいたツイッターを読み感動しています。私も大好きなゴルフに行く気分になれず、何か微力を尽くせることがないかと思い、昨日市役所にボランティア登録に行きました。沢山の人が同じ思いで駆けつけていました。日本も捨てたものではないと思い知らされました。原発の先行きも心配ですが、今回の災害がきっと日本再生の契機になると確信しています。ハワイの皆様も是非応援を！(3/18)有難うございます。とりあえずは福島原発が無事に収斂するかどうかを、固唾を飲んで見守っています。23日から、後方支援のボランティア活動に参加の予定です。

北村肇さん

◆(3/14)ツイッターを読み、涙をこぼしました。16年前の「阪神大震災」の折にも、コンビニの前で整然と行列している被災者の姿をTVで視て感動、長年外国に住む日本人として、さすが日本人だ！と驚くとともに、誇らしく思ったものでありました。がんばれジャパン！ 布哇在留老人・布川捷二さん

◆(3/14)素晴らしい つぶやき を送っていただき、ありがとう。すべて印刷して、今夜、家族みんなで、読んでみます。

小林和義さん

◆(3/14)小学校は原発と津波から逃げてきた方たちの避難所となっています。現在120名を収容しています。しかし、水や食料、毛布などが十分ではありません。食料と水は1日1回しか支給されません。しかも人数分は支給されないの、みんなで分け合うしかありません。これが、状況です。

しかし、本校では地域の方々からの支援物資(米、野菜、水等)とともに、地元の観光施設から布団やタオル、歯ブラシなどの支援があり、暖かく、3食食べられています。たぶんそんなところはここだけだろうと思います。本当にしっかりした暖かい地域の方々だなどと感謝の言葉もありません。

さらに、避難してきた方たちが非常に落ち着いた組織だった動きをしています。自分たちで生活のきまりを作り、ラジオ体操をしたり、支援物資を使って自炊したりしています。また、子どもたち(小学生から高校生)が、食事を配ったり、物を運んだり、伝達係として連絡をとったりと、大活躍しています。非常に礼儀正しく、落ち着いた行動をしています。家も家族も失い、身一つで避難してきた方たちなのに、なんてすばらしいのだろうと、感動しています。



こんな方たちもいるのだと、ぜひ多くの方たちに知っていただきたい。人間は強いものです。

でも、私も一人になると、涙が止まりません。Takagi Kyoko さん

◆(3/14)ありがとうございます。送って頂いて……。色んな人に転送しました。うれしいですね、日本ってすごい国だな。日本人ってすごいなって改めて感じられて……。時々日本人の融通の効かなさ、真面目すぎる事が嫌になってしまいますけどやっぱりすごいんだなって改めて思いました。ありがとうございます！

菅川じゅんさん

(続く)

◆(3/14)私はハワイにいて、地震と津波と福島原発爆発のニュースを tv-Japan で見て、胸がつぶれた。落ち着かない毎日だけれど、きっと日本人は立ち上がると、期待している。頼むから、投げ出さず頑張って貰いたい。

途方もない傷ではあるが、ここは日本人。力の限りを尽くして再建して、日本人の心意気を世界中に示すのだ。私はあなた方を信じているし、世界中がそれを見守っている。イギリス、アメリカ、中国、ロシア、韓国……みんなが見ている、応援している。涙が止まらない。悦子さん

◆(3/15)毎日、四国で皆さんの様子を見守っています。何もできない自分にジレンマを感じていますが、私たちの周りもみんな何もできない悔しさと悲しさにあふれています。でも皆さんは決して1人ではありません。日本中、世界中の仲間が見守っています。がんばれ!! 梶原 稔浩さん

◆(3/15)とてもタイムリーな「元気づけられる つぶやき」有難う御座いました。どうしても暗い気持ちになりがちな今、このようにつぶやきとても感動と勇気を貰いました。日本の若い者(もん)も捨てたもんじゃないね! と思いました。塚原勉さん

◆(3/15)死者・行方不明者一万人以上といわれる今回の大地震。でも、被災された皆さんが、秩序よく気丈に苦情も述べずに避難生活を送っているのをテレビで見ると、日本人の奥底にある「助け合いのころ」や「やさしさ」がまだ十分に残っているのを感じます。心を揺さぶられます。物資の面ではお手伝いできませんが、被災者の人々を、なんとかしてでも(金銭的な面での募金など)お助けしたいと思います。秋山高二さん

◆(3/16)早速のお見舞いありがとうございます。お蔭様で当日盛岡におりました私も家族も全員無事でございます。



翌日仙台出張の予定でしたので、一日ずれておりましたら仙台空港で被災しておりました。宮古市に在住の嫁の家族も、幸い沿岸より離れておりますので安否を確認いたしました。

誰も予想だにしない出来事で、テレビで御覧のとおり阿鼻叫喚の映像に、皆様も驚かれていらっしゃることに存じます。度重なる余震と例年にない寒さに被災地の人々は恐怖と悲しみと空腹の不安の日々に耐えておられます。

幸いにも難を逃れた我々に今何が出来るのか、そして日本人としての誇りと優しさと強い精神力、忍耐力で団結し復興に向けて、道のりは長いかも知れませんが会長のおっしゃるとおり「日本は不滅です!」絶対立ち直ります。

東京にいる娘からも「私たち若者が日本を再建する!」と心強いメールがありました。

世界の国々からも、国内の人々からも心温まる応援が届いております。本当に感謝しております。まだまだ始まったばかり・・・悲しみはこれからです。遠方よりの心強い応援と優しさに本当に元気づけられます。見守っててください。ありがとうございました。みなさまにもよろしくお伝えくださいませ。小野寺 洋子さん

◆(3/16)神戸の震災を経験し、また今回の地震を都内で経験し、横浜まで徒歩で歩き、横浜駅のコンコースでほんのわずかな時間ながら寒さに震えて一夜を過ごし、翌朝ののぞみに飛び乗り神戸に帰ってきました。連日連夜のニュースを見ながら、二つの震災のことを思いだし、無力感を感じるなり当時のことを思いだしながら時間を過ごしております。本当に捨てた者ではないですね、この日本という国は。ハワイの会員皆様の勇気付け有難うございます。来栖正利さん

◆(3/17)日本は素晴らしく美しい島国ですが、それゆえ天災地変はつき物です。でも、今回は余りにも巨大すぎました。それに加えて人災のような原子力発電所溶解問題がボデーブローのようにきいています。更に悪いことに、この問題はまだまだ先が見えません。それが日本人全員の心理的恐怖を増大させています。

大地震の震源地は僕の住んでいる名古屋からは遥かに遠いので近辺の様子はいつもと全く変わりありませんが、被災地の人たちの苦労は慮りようもありません。僕ら元気な日本人全員に出来ることは、1人1人、彼らを励まし、助けあうために各人が出来ることから行動するしか術はないと思っています。

それにつけても、大惨事の中で平常心と道徳心を失わない「日本人の高潔さ」を外国各国が賞賛することがどれだけ罹災地の人たちの励ましになっているか計り知れません。人間社会には境界も国境もないと感じた瞬間です。皆様の励まし有難うございます。内藤由治さん

◆(3/18)大変ご心配をおかしております。私の住まいは大丈夫でしたが、石巻の長女の家が壊滅状態になりました。地震がきてあつという間の大津波で逃げることもできず水の中で一晩過ごし、死を覚悟したとのこと。しかしその時知らない人同士が水の中で励ましあいながら胸まで浸かる水の中を歩き続けたとのこと。その方たちと会わなかったら絶望的になってしまい水の中で死を覚悟したそうです。その足で学校まで行き子供を引き取ってきたということでした。低体温状態でしたが本当に気力で乗り切ったようです。(続く)



やっと車が通れるようになり、今日石巻まで行ってきました。石油、水、寝具、衣類などもっていきました。道すがら車等の残骸、崩壊した家々、流れてきた木々、などなど見るにつけその凄さを目の当りにしました。電気だけが通じており、他のライフラインはまだです。とても寒いです。有名な日和山にのぼり、町の様子を見てきました。戦後の焼け野原のような風景をみて、映画の世界ではないかとおもいました。いとこの家も焼失、叔母とはまだ連絡が取れずにいます。今日11歳の孫を仙台に連れてきました。高1の子は家に帰れず学校で避難中。19歳の子は友人の家の家族とともに近くの避難所にいることが確認されました。家族がばらばらの状態で生活しております。仙台も電気以外のライフラインはまだです。ガソリン、石油が購入できません。買い物は長蛇の列。しかし、このような状況でも知らないもの同士が助け合い、情報を共有し、協力しあう姿は素晴らしいとおもいました。日本人はすごい！また世界中からの援助などありがたいことです。協会からもご心配のお便りを頂きありがとうございます。もう少しなのでみんなで頑張ります。それでは **KIさん** (このメールは私信としてお送りいただきましたので、お名前を伏せて掲載させていただきました。)

◆(3/23) Mail ありがとうございます。宮城に住んでおりますが、私の家族は無事でした。地震直後、ライフラインがすべて止まり、宮城がどういう状態かわからずに5日間すごしました。電気がつながりテレビをみてあまりもの悲惨さに涙が止まりませんでした。まだ余震は一日に何度もきていますし、原発の不安もあります。今は食料とガソリンの調達に必死ですが、家族で笑える時間がある幸せを痛感しております。そして7月にHawaiiに行くことを楽しみに日々頑張っていきたいとおもいます。 **高橋 正裕・千尋さん**

◇ ◇ ◇

今後ともメッセージがございましたら「一言」を info@hawaiiseniorlife.org へあてお送りください。

日本語クリニック「ワイキキ緊急医療クリニック」

堀育史院長

会員証を提示すると、初回無料相談、血圧測定、滞在中のアドバイス、専門医の紹介等を受けられます。

Bank of Hawaii Bldg. 3階 ☎ (808)924-3399

名医による無料健康相談(Eメールによる)

大山廉平ドクター(会員・顧問/東京都済生会渋谷診療所所長)

ご希望の方は、①姓名、②会員番号、③返信用Eメールアドレス、④病歴、⑤相談内容を下記メールアドレス宛お送りください。ご本人のみならず、ご家族お知り合いの方、病気と断定できないことでも健康のことでしたらなんでもご相談ください。 oyama@saichu.jp

◇ ◇ ◇

ご寄付をいただきました。会の活動資金として活用させていただきます。

(\$3000)坂井諒三・澄子様(\$500)蓮尾芳雄・ゆう子様(ホノルル将棋フェスティバルへのご寄付) (\$50以下)近藤恒司。優子様、岡部秀美様

ありがとうございました。

「ハワイアナ」及び「シリーズ健康」は、お休みさせていただきます。

Mahalo

(編集担当:インフォメーションコミッティ/石毛克祐)

インフォメーションセンター

場 所: ワイキキビジネスプラザ 11F #1108A (2270 Kalakaua Ave)

電 話: (808)428-5808

電話対応: 毎日 午前9時~午後5時(日本時間:午後2時~午後10時)

イベント申し込み等ご利用ください・事故、病気等緊急の際は24時間電話相談受付(5時以降は緊急相談のみ)

シニアライフ・カフェ

場 所: ワイキキ免税店の隣、Gen (元) Restaurant & Bar 内 **会員ディスカウントあり。**

毎 日: 09:30~24:00(年中無休) 電 話: 921-3536(担当:鎌田さん)

内 容: 国際電話(10分1ドル)、インターネット(30分3ドル) 日経、朝日、スポーツ新聞、週刊誌等用意。

ソフトドリンク、食事(日本の家庭料理/11:00~23:00)、お酒等もあります。

当協会の概要、入会案内: www.hawaiiseniorlife.org をご覧になるか、カタログをご請求ください。